

令和6年度 看護実施状況調査書(令和5年度分) について

I. 目的

県内病院における看護職員の休暇制度、看護職員充足状況、採用・求人の状況、勤務環境、新人教育体制、研修体制などを把握し、ナースセンター事業に活用する。

II. 方法

1) 調査対象

和歌山県内83病院

2) 調査の対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日（令和5年度）の実施状況の内容を令和6年9月から10月初旬に和歌山県医務課、各県立保健所から調査書を配布し、回収。

3) 調査方法

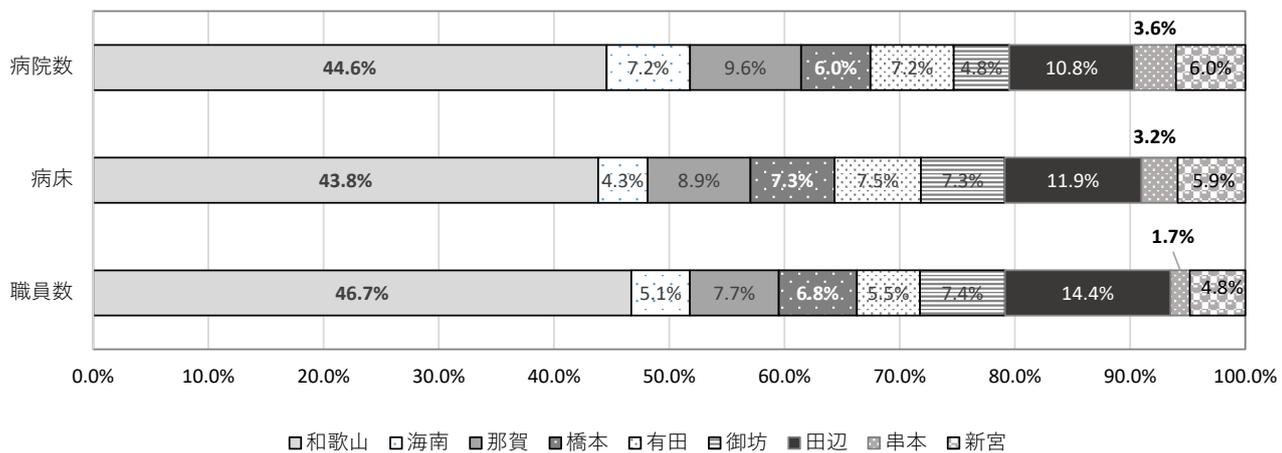
和歌山県医務課が回収した看護実施調査書の別紙2の情報を共有

1. 施設等概況

表1. 医療圏域別病院・病床・職員数(記載通り)

	病院数	病床数	職員数 (実員)
和歌山医療圏	37	5,448	3,471
海南医療圏	6	534	377
那賀医療圏	8	1,107	574
橋本医療圏	5	907	504
有田医療圏	6	931	406
御坊医療圏	4	905	549
田辺医療圏	9	1,473	1,068
串本医療圏	3	393	123
新宮医療圏	5	728	358
合計	83	12,426	7,430

図1. 医療圏域別施設概況



和歌山・那賀・御坊・田辺・串本医療圏で病床が減少している。

2. 休暇制度

1) 産休取得状況

表2. 医療圏域別・規模別産休取得数

*規模は調査の申告に基づいて区分

	大規模病院			中規模病院			小規模病院			全体		
	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率
和歌山医療圏	128	25.6	6.2%	26	1.9	3.1%	19	1.1	3.3%	173	4.7	5.0%
海南医療圏				13	6.5	5.0%	5	1.3	4.8%	18	3.0	4.9%
那賀医療圏	9	4.5	3.0%	9	2.3	3.7%	0	0.0	0.0%	18	2.3	3.1%
橋本医療圏	21	10.5	6.2%	1	0.5	0.9%	2	2.0	4.5%	24	4.8	4.9%
有田医療圏	4	4.0	3.5%	10	3.3	4.2%	1	0.5	1.3%	15	2.5	3.5%
御坊医療圏	9	4.5	2.5%	13	6.5	7.1%				22	5.5	4.1%
田辺医療圏	44	14.7	6.1%	5	1.7	4.0%	1	0.3	0.7%	50	5.6	5.1%
串本医療圏				1	0.3	0.8%				1	0.3	0.8%
新宮医療圏	2	2.0	1.1%	3	1.5	2.5%	0	0.0	0.0%	5	1.0	1.4%
	217	13.6	5.3%	81	2.3	3.6%	28	0.9	2.7%	326	3.9	4.4%

前年より産休取得者が23名減少している

2) 育児休暇取得状況

表3. 医療圏域別・規模別育児休暇取得状況

	大規模病院			中規模病院			小規模病院			全体		
	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率
和歌山医療圏	236	47.2	11.5%	35	2.5	4.1%	27	1.5	4.7%	298	8.1	8.6%
海南医療圏				24	12.0	9.2%	4	1.0	3.8%	28	4.7	7.7%
那賀医療圏	9	4.5	3.0%	15	3.8	6.2%	0	0.0	0.0%	24	3.0	4.2%
橋本医療圏	19	9.5	5.6%	7	3.5	6.5%	2	2.0	4.5%	28	5.6	5.7%
有田医療圏	6	6.0	5.2%	18	6.0	7.6%	3	1.5	3.9%	27	4.5	6.3%
御坊医療圏	25	12.5	7.0%	24	12.0	13.1%				49	12.3	9.1%
田辺医療圏	42	14.0	5.8%	6	2.0	4.8%	4	1.3	2.8%	52	5.8	5.3%
串本医療圏				2	1.0	1.6%				2	0.7	1.6%
新宮医療圏	7	7.0	3.8%	3	1.5	2.5%	4	2.0	6.8%	14	2.8	3.8%
	344	21.5	8.4%	134	3.8	5.9%	44	1.4	4.3%	522	6.3	7.1%

取得人数は5名減少しているが、ほぼ横ばいである。

3) 介護休暇取得状況 表4. 医療圏域別・規模別介護休暇取得状況

	大規模病院			中規模病院			小規模病院			全体		
	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率	取得人数	1病院平均	総数対取得率
和歌山医療圏	6	1.2	0.29%	3	0.2	0.35%	4	0.2	0.70%	13	0.4	0.37%
海南医療圏				0	0.0	0.00%	1	0.3	0.96%	1	0.2	0.27%
那賀医療圏	0	0.0	0.00%	29	7.3	11.98%	0	0.0	0.00%	29	3.6	5.04%
橋本医療圏	0	0.0	0.00%	1	0.5	0.93%	0	0.0	0.00%	1	0.2	0.20%
有田医療圏	1	1.0	0.87%	2	0.7	0.84%	0	0.0	0.00%	3	0.5	0.70%
御坊医療圏	8	4.0	2.25%	2	1.0	1.09%				10	2.5	1.86%
田辺医療圏	0	0.0	0.00%	0	0.0	0.00%	1	0.3	0.70%	1	0.1	0.10%
串本医療圏				3	1.0	2.33%	1			4	1.3	3.10%
新宮医療圏	0	0.0	0.00%	0	0.0	0.00%	0	0.0	0.00%	0	0.0	0.00%
	15	0.9	0.37%	40	1.1	1.77%	7	0.2	0.68%	62	0.7	0.84%

前年と比べると介護休暇取得者が9名増加している。

4) 有給休暇取得状況（有給休暇取得率） 表5. 医療圏域別・規模別有給休暇取得率

	大規模病院	中規模病院	小規模病院	全体
和歌山医療圏	74.8%	*79.8%	78.4%	78.0%
海南医療圏		73.1%	47.9%	58.0%
那賀医療圏	55.6%	*69.2%	62.7%	62.8%
橋本医療圏	58.8%	82.5%	56.5%	68.8%
有田医療圏	71.6%	67.5%	80.5%	72.0%
御坊医療圏	88.1%	80.4%		84.6%
田辺医療圏	66.2%	82.6%	55.6%	
串本医療圏		69.0%		69.0%
新宮医療圏	60.9%	71.0%	66.7%	67.2%
平均	69.6%	76.2%	70.8%	72.6%

中規模病院の和歌山医療圏不整合回答1件、未回答1件 那賀医療圏不整合回答1件あり

小規模病院 田辺医療圏不整合回答1件

那賀医療圏の有給休暇取得率が前年より11.5ポイント減少している。

5) 有給休暇日数状況 表6. 規模別有給休暇付与数

	大規模病院	中規模病院	小規模病院	全体	占有率
20日以上	11	10	11	32	40.5%
15日以上20日未満	5	18	18	41	51.9%
10日以上15日未満		3	3	6	7.6%
合計	16	31	32	79	100.0%

中規模病院の和歌山医療圏不整合回答1件、未回答1件 那賀医療圏不整合回答1件あり

小規模病院 田辺医療圏不整合回答1件 有給休暇が10日から15日未満の病院が減少している。

3. 看護職員充足対策の状況

1) 看護職員の採用状況（全体/1病院あたり人数） 表7. 医療圏域別・規模別採用数

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	全病院合計	1病院あたり	全病院合計	1病院あたり	全病院合計	1病院あたり	全病院合計	1病院あたり
和歌山医療圏	221	44.2	111	7.9	83	4.6	415	11.2
海南医療圏			16	8.0	12	3.0	28	4.7
那賀医療圏	26	13.0	28	7.0	8	4.0	62	7.8
橋本医療圏	38	19.0	3	1.5	4	4.0	45	9.0
有田医療圏	6	6.0	21	7.0	7	3.5	34	5.7
御坊医療圏	28	14.0	22	11.0			50	12.5
田辺医療圏	57	19.0	34	11.3	2	0.7	93	10.3
串本医療圏			13	4.3			13	4.3
新宮医療圏	14	14.0	10	5.0	16	8.0	40	8.0
合計	390	24.4	258	7.4	132	4.1	780	9.4

前年と比べると全体の採用数が95人減少した。

小規模病院6病院で採用者がいなかった。

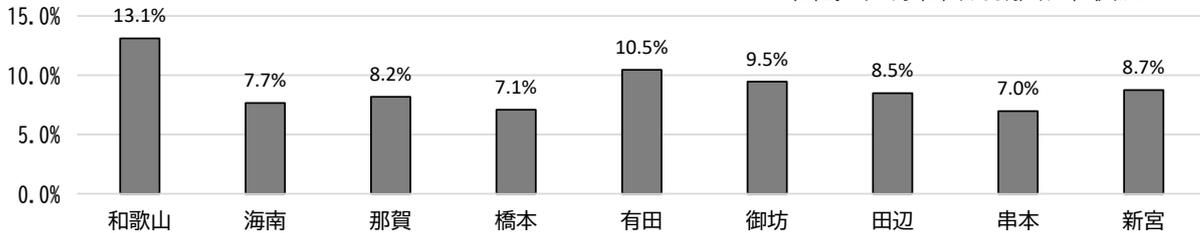
2) 看護職員の離職状況

表8. 医療圏域別・規模別離職数

	大規模病院			中規模病院			小規模病院			全体		
	人数	1病院平均	総数対離職率	人数	1病院平均	総数対離職率	人数	1病院平均	総数対離職率	人数	1病院平均	総数対離職率
和歌山医療圏	218	43.6	10.6%	128	9.1	15.1%	110	6.1	19.2%	456	12.3	13.1%
海南医療圏				15	7.5	5.7%	13	3.3	12.5%	28	4.7	7.7%
那賀医療圏	19	9.5	6.3%	23	5.8	9.5%	5	2.5	15.2%	47	5.9	8.2%
橋本医療圏	32	16	9.4%	2	1.0	1.9%	1	1.0	2.3%	35	7.0	7.1%
有田医療圏	9	9	7.8%	28	9.3	11.8%	8	4.0	10.4%	45	7.5	10.5%
御坊医療圏	30	15	8.4%	21	10.5	11.5%				51	12.8	9.5%
田辺医療圏	66	22	9.1%	14	4.7	11.3%	4	1.3	2.8%	84	9.3	8.5%
串本医療圏				9	3.0	7.0%				9	3.0	7.0%
新宮医療圏	14	14	7.5%	6	3.0	5.0%	12	6.0	20.3%	32	6.4	8.7%
	388	24.3	9.5%	246	7.0	10.9%	153	4.8	14.8%	787	9.5	10.7%

橋本医療圏1施設（中規模）、和歌山医療圏1施設（小規模）不整合回答だったため計上していない。

図2. 医療圏域別離職率状況



3) 看護職員の離職状況（離職状況別） 表9. 規模別離職者数

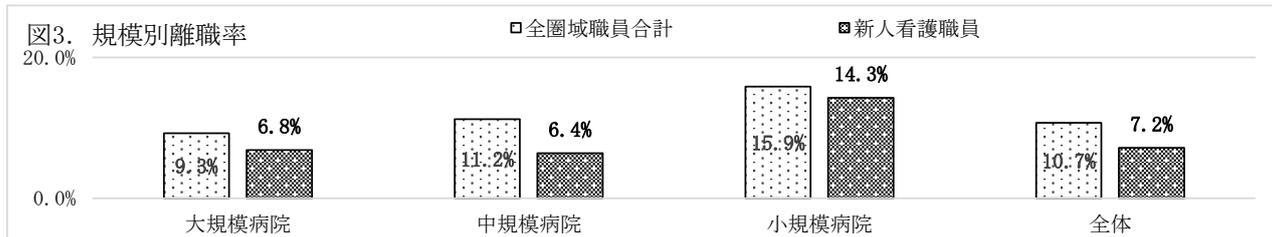
	大規模病院			中規模病院			小規模病院			全体		
	定年	中途	新卒 (再掲)	定年	中途	新卒 (再掲)	定年	中途	新卒 (再掲)	定年	中途	新卒 (再掲)
全圏域合計	15	373	20	13	233	5	5	148	3	33	754	28

中規模病院に1施設、小規模病院に1施設不整合回答あり

4) 看護職員の離職率 表10. 規模別離職者率

	大規模病院			中規模病院			小規模病院			全体		
	職員数	退職数	離職率	職員数	退職数	離職率	職員数	退職数	離職率	職員数	退職数	離職率
全圏域職員合計	4,194	388	9.3%	2,190	246	11.2%	964	153	15.9%	7,348	787	10.7%
うち新人看護職員	292	20	6.8%	78	5	6.4%	21	3	14.3%	391	28	7.2%

中規模病院に1施設、小規模病院に1施設不整合回答あり。退職者数に計上していない。
母数の職員数から当該施設の職員数を引いている。



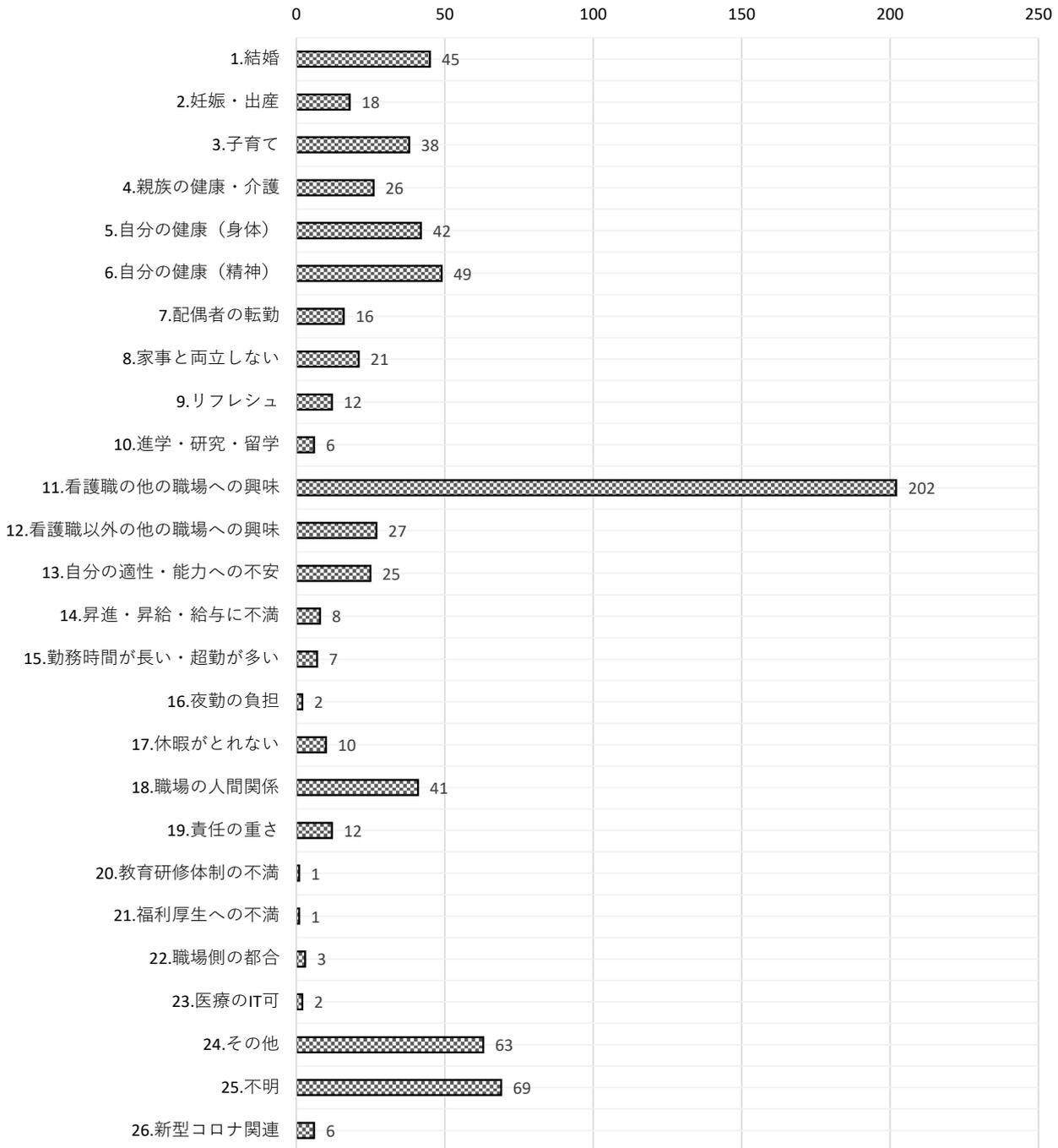
大規模病院の職員合計、新人看護職員の離職率は、減少している。小規模病院の離職率は、職員合計、新人看護職員ともに増加している。全体としては新人看護職員の離職率は、前年に比べ3.9ポイント減少した。

5) 中途退職者の主な離職理由

表11. 離職理由について

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体規模病院	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. 結婚	23	6.2%	14	5.8%	8	5.5%	45	6.0%
2. 妊娠・出産	13	3.5%	2	0.8%	3	2.1%	18	2.4%
3. 子育て	20	5.4%	9	3.7%	9	6.2%	38	5.1%
4. 親族の健康・介護	11	2.9%	10	4.1%	5	3.4%	26	3.5%
5. 自分の健康（身体）	21	5.6%	15	6.2%	6	4.1%	42	5.6%
6. 自分の健康（精神）	31	8.3%	11	4.5%	7	4.8%	49	6.5%
7. 配偶者の転勤	5	1.3%	11	4.5%	0	0.0%	16	2.1%
8. 家事と両立しない	16	4.3%	4	1.6%	1	0.7%	21	2.8%
9. リフレッシュ	5	1.3%	4	1.6%	3	2.1%	12	1.6%
10. 進学・研究・留学	4	1.1%	1	0.4%	1	0.7%	6	0.8%
11. 看護職以外の職場への興味	108	29.0%	65	26.7%	29	20.0%	202	26.9%
12. 看護職以外の他の職場への興味	15	4.0%	6	2.5%	6	4.1%	27	3.6%
13. 自分の適性・能力への不安	1	0.3%	6	2.5%	18	12.4%	25	3.3%
14. 昇進・昇給・給与に不満	0	0.0%	6	2.5%	2	1.4%	8	1.1%
15. 勤務時間が長い・超勤が多い	7	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.9%
16. 夜勤の負担	1	0.3%	0	0.0%	1	0.7%	2	0.3%
17. 休暇がとれない	9	2.4%	0	0.0%	1	0.7%	10	1.3%
18. 職場の人間関係	3	0.8%	22	9.1%	16	11.0%	41	5.5%
19. 責任の重さ	4	1.1%	7	2.9%	1	0.7%	12	1.6%
20. 教育研修体制の不満	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
21. 福利厚生への不満	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
22. 職場側の都合	0	0.0%	2	0.8%	1	0.7%	3	0.4%
23. 医療のIT可	0	0.0%	1	0.4%	1	0.7%	2	0.3%
24. その他	43	11.5%	15	6.2%	5	3.4%	63	8.4%
25. 不明	20	5.4%	26	10.7%	23	15.9%	69	9.2%
26. 新型コロナ関連	1	0.3%	5	2.1%	0	0.0%	6	0.8%

図4. 中途退職者の主な理由



前年に引き続き離職理由は、看護職の他の職場への興味の離職が最も高い。前年より、3.5%増加した。

6) 中途退職者の退職時の職歴 表12. 中途退職者勤務年数

	大規模病院					中規模病院					小規模病院					全体						
	1未	1上 3未	3上 5未	5上	合計	1未	1上 3未	3上 5未	5上	不明	合計	1未	1上 3未	3上 5未	5上	合計	1未	1上 3未	3上 5未	5上	不明	合計
全圏域合計	27	57	81	208	373	43	67	53	69	1	233	46	39	25	38	148	116	163	159	315	1	754
割合	7%	15%	22%	56%	100%	18%	29%	23%	30%	0%	100%	31%	26%	17%	26%	100%	15%	22%	21%	42%	0%	100%

※ 1未：1年未満、1上3未：1～3年未満、3上5：3～5年未満、5上：5年以上

中規模病院に1施設、小規模病院に1施設不整合回答あり。退職者数に計上していない。

中途退職者数は前年より22名増加している。（上記回答施設の病院退職者除く）
中途採用者の職歴は5年以上が42%で前年と同様最も多い。

4.採用・求人状況

1) 中途退職者の異動先 表13. 中途退職者の県内外の異動数

	大規模病院					中規模病院					小規模病院					全体				合計
	県内	県外	未就	不明	合計	県内	県外	未就	不明	合計	県内	県外	未就	不明	合計	県内	県外	未就	不明	
全圏域合計	87	17	35	234	373	71	33	22	107	233	53	8	21	66	148	211	58	78	407	754

中規模病院に1施設、小規模病院に1施設不整合回答あり。退職者数に計上していない。

前年度と比べると県外への異動数が46人減少している。

2) 採用状況 表14. 採用方法

	採用状況（県内）									採用状況（県外）									合計
	新卒者	再就業			潜在			新卒者	再就業			潜在							
		直接採用	ナースセンター	人材派遣会社 その他ハローワーク	直接採用	ナースセンター	人材派遣会社 その他ハローワーク		直接採用	ナースセンター	人材派遣会社 その他ハローワーク	直接採用	ナースセンター	人材派遣会社 その他ハローワーク					
大規模病院	243	50	0	6	1	4	0	11	1	49	11	0	3	0	9	0	2	0	390
中規模病院	71	66	11	26	26	14	1	1	11	8	4	6	6	3	2	0	1	1	258
小規模病院	17	31	1	12	39	6	1	2	9	4	2	0	1	6	0	0	1	0	132
合計	331	147	12	44	66	24	2	14	21	61	17	6	10	9	11	0	4	1	780

県内外とも直接採用が最も多くついで、ハローワークその他、人材派遣会社と続く。前年より採用数は大中小規模病院の採用が減少したが、そのうち小規模病院の採用は、85人減少した。全体で95人減少した。

表15-1. 医療圏域別・規模別看護師不足状況

	大規模病院				中規模病院				小規模病院			
	不足病院合計(人)	不足病院数	1病院あたり不足数	医療圏病院比	不足病院合計(人)	不足病院数	1病院あたり不足数	医療圏病院比	不足病院合計(人)	不足病院数	1病院あたり不足数	医療圏病院比
和歌山医療圏	119	3	39.7	60.0%	39	10	3.9	71.4%	48	13	3.7	72.2%
海南医療圏					5	1	5.0	50.0%	5	3	1.7	75.0%
那賀医療圏	33	1	33.0	50.0%	1	1	1.0	25.0%	9	2	4.5	100.0%
橋本医療圏	15	1	15.0	50.0%	4	1	4.0	50.0%	3	1	3.0	100.0%
有田医療圏	4	1	4.0	100.0%	8	3	2.7	100.0%	4	1	4.0	50.0%
御坊医療圏	7	1	7.0	50.0%	10	1	10.0	50.0%				
田辺医療圏	57	3	19.0	100.0%	6	2	3.0	66.7%	8	3	2.7	100.0%
串本医療圏					10	2	5.0	66.7%				
新宮医療圏	24	1	24.0	100.0%	11	1	11.0	50.0%	6	2	0.0	100.0%
合計	259	11	23.5	68.8%	94	22	4.3	62.9%	83	25	3.3	78.1%

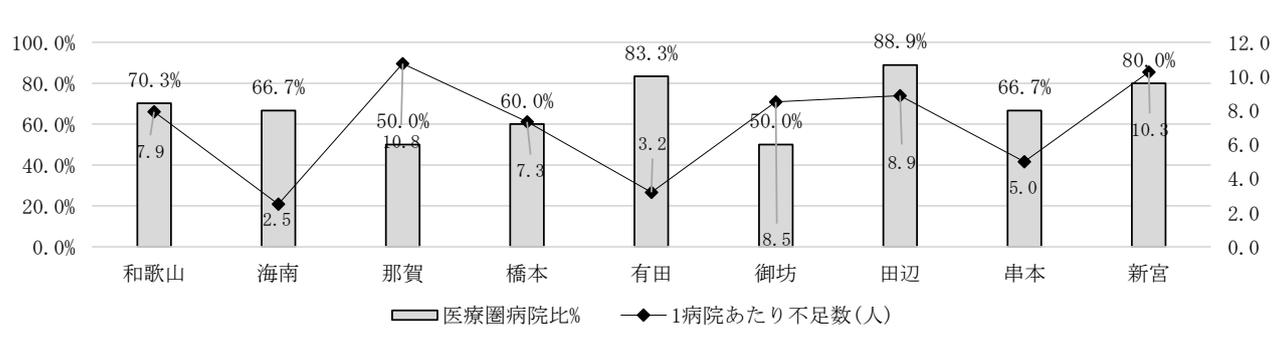
表15-2. 医療圏域別看護師不足状況

	全体			
	院合計(人)	不足病院数	1病院あたり不足数	医療圏病院比
和歌山医療圏	206	26	7.9	81.3%
海南医療圏	10	4	2.5	50.0%
那賀医療圏	43	4	10.8	50.0%
橋本医療圏	22	3	7.3	75.0%
有田医療圏	16	5	3.2	71.4%
御坊医療圏	17	2	8.5	40.0%
田辺医療圏	71	8	8.9	133.3%
串本医療圏	10	2	5.0	50.0%
新宮医療圏	41	4	10.3	20.0%
合計	436	58	7.5	61.7%

看護師不足状況は前年度と比べると59人多く不足と大病院が回答している。不足病院の割合も11.9ポイント増加した。

医療圏別にみると那賀医療圏は前年より35人多く不足と回答。不足病院の割合も12.5ポイント増加した。和歌山医療圏も35人多く不足と回答。不足病院の割合は同じであった。田辺医療圏が前年より9人多く不足と回答し不足病院の割合も22.2ポイントが増加した。

図5. 医療圏域不足状況



4) 求人方法

表16. 求人方法

	ナースセンター		ハローワーク		県内看護学校		県外看護学校		有料就職情報サイト		新聞、広告等		その他		平均実施項目数
	数	導入割	数	導入割	数	導入割	数	導入割	数	導入割	数	導入割	数	導入割	
大規模病院	10	63%	13	81%	14	88%	9	56%	7	44%	11	69%	7	44%	4.4
中規模病院	23	66%	33	94%	30	86%	2	6%	21	60%	17	49%	18	51%	4.1
小規模病院	24	75%	28	88%	18	56%	6	19%	19	59%	14	44%	16	50%	3.9
合計	57	69%	74	89%	62	75%	17	20%	42	51%	42	51%	41	49%	4.0

ハローワークでの求人方法が最も多くついで県内の学校が多い。その他の求人方法として自院のホームページに掲載、看護師募集のポスターの掲示、地方紙に掲載がある。

5) 求人に関連して

表17. 求人の際の支援について

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	該当数	導入割合	該当数	導入割合	該当数	導入割合	該当数	導入割合
インターンシップ	12	75.0%	15	44.1%	16	48.5%	43	51.8%
潜在看護職員研修独自	2	12.5%	1	2.9%	0	0.0%	3	3.6%
届出制度支援	11	68.8%	21	61.8%	14	42.4%	46	55.4%

大中小規模病院全て、インターンシップなどの導入の割合が増加している。特に小規模病院は前年に比べ5施設増加

独自で潜在看護職員向けの研修開催している病院が1.2ポイント減り3.6%となった

届出制度支援が前年より7.2ポイント増加し55.4%の病院が支援していると回答。

5. 勤務環境

1) 様々な制度 (ワークライフバランス等)

表18. 福利厚生・ワークライフバランス・院内体制について

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	該当数	導入割合	該当数	導入割合	該当数	導入割合	該当数	導入割合
病院内保育所の設置	12	75.0%	11	32.4%	6	18.2%	29	34.9%
保育の24時間対応	6	37.5%	9	26.5%	2	6.1%	17	20.5%
保育料の補助	3	18.8%	4	11.8%	6	18.2%	13	15.7%
看護職員寮	8	50.0%	11	32.4%	2	6.1%	21	25.3%
短期間正社員?	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
フレックスタイム	1	6.3%	8	23.5%	2	6.1%	11	13.3%
ワーク・シェアリング	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	1	1.2%
院内リリーフ体制	7	43.8%	11	32.4%	5	15.2%	23	27.7%
夜勤専従勤務	7	43.8%	16	47.1%	16	48.5%	39	47.0%
勤務時間インターバル制度	11	68.8%	18	52.9%	16	48.5%	45	54.2%
その他	0	0.0%	3	8.8%	0	0.0%	3	3.6%
奨学金制度	13	81.3%	27	79.4%	22	66.7%	62	74.7%
電子カルテ	15	93.8%	26	76.5%	11	33.3%	52	62.7%

前年と比べ、勤務環境に導入されている制度については、若干増減があるが、あまり変化が見られなかった。

2) 新人育成の制度について

表19. 新人育成の制度の導入

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	該当数	導入割合	該当数	導入割合	該当数	導入割合	該当数	導入割合
プリセプター制度	12	75.0%	23	67.6%	9	27.3%	44	53.0%
新人看護職員研修	16	100.0%	29	85.3%	21	63.6%	66	79.5%
実習指導者講習会受講者	15	93.8%	26	76.5%	13	39.4%	54	65.1%
クリニカルリーダー	14	87.5%	20	58.8%	6	18.2%	40	48.2%

3) 実習指導者講習会受講者数

表20. 実習指導者講習会受講者数

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	受講者数	1病院あたりの割合	受講者数	1病院あたりの割合	受講者数	1病院あたりの割合	受講者数	1病院あたりの割合
実習指導者講習会受講者数	390	24.4	180	5.5	31	1.2	601	7.1

前年度より、実習指導者講習会受講者が15人増加した。中小規模病院では受講者が減少

4) クリニカルリーダーの採用について

表21. クリニカルリーダー採用について

	大規模病院			中規模病院			小規模病院			全体		
	*JNA	独自	その他									
クリニカルリーダー												
病院数	3	9	2	4	11	5	4	2	0	11	22	7
合計	14			20			6			40		
採用率	87.5%			57.1%			18.8%			48.2%		

*JNA: 日本看護協会

6. 研修体制

1) 特定行為研修

表22 規模別特定行為研修受講者数

特定行為研修	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数
修了者(人)	9	71	7	16	5	5	21	92
受講中(人)	5	15	6	9	2	2	13	26
令和6年度予定(人)	0	0	2	3	1	2	3	5

修了者数は前年にくらべ20名増加 受講中、受講予定者は増加傾向である。

2) 認定看護師制度

表23. 規模別認定看護師制度受講者数

認定看護師	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数
修了者(人)	13	132	11	30	2	2	26	164
受講中(人)	7	10	3	3	1	1	11	14
令和6年度受講予定	2	2	0	0	1	2	3	4

前年と同程度である。

3) 専門看護師制度

表24. 規模別専門看護師制度受講者

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数
修了者(人)	5	9	2	1	0	0	7	10
受講中(人)	1	1	2	1	1	1	4	3
令和6年度受講予定	0	0	0	0	1	2	1	2

4) 診療看護師制度

表25. 規模別診療看護師制度受講者

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数
修了者	1	1	0	0	0	0	1	1
受講中	0	0	0	0	1	1	1	1
令和6年度受講予定	0	0	0	0	1	2	1	2

5) アドバンス助産師制度

表26. 規模別アドバンス助産師制度受講者

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数
修了者	6	38	2	5	0	0	8	43
受講中	1	4	0	0	1	1	2	5
令和6年度受講予定	0	0	0	0	1	2	1	2

6) 災害支援看護師研修

票27. 規模別災害支援看護師研修受講者

	大規模病院		中規模病院		小規模病院		全体	
	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数	病院数	人数
修了者	10	46	13	33	6	7	29	86
受講中	1	2	0	0	1	1	2	3
令和6年度受講予定	4	11	7	14	2	3	13	28

令和5年度から新規事業として実施

表28. 特定行為別受講者数

特定行為項目	修了者 (人)	受講中 (人)	受講予定 設数) ^(施)
1気道確保	4	1	0
2人工呼吸	7	1	0
3長期呼吸	11	1	0
4循環器	1	0	0
5心嚢ドレーン	0	0	0
6胸腔ドレーン	0	0	0
7腹腔ドレーン	0	0	0
8ろう孔	3	1	0
9栄養 (中心静脈)	18	5	0
10栄養 (末梢)	6	3	0
11創傷	12	4	0
12創部ドレーン	3	0	0
13動脈血液ガス	19	5	0
14透析	0	0	0
15栄養水分薬剤	52	6	0
16感染に係る薬剤	10	3	0
17血糖薬剤	8	0	0
18術後疼痛	0	0	0
19循環動態薬剤	5	1	0
20精神薬剤	3	1	0
21皮膚損傷薬剤	0	0	0
22在宅・慢性期領域	5	2	0
23外科術後管理領域	0	0	0
24術中麻酔管理領域	1	2	0
25救急領域	9	1	0

特定行為研修では、前年同様、受講修了者・受講中の方が、15栄養及び水分管理に係る薬剤関連が最も多く、ついで13動脈血液ガス9栄養にかかるカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連の受講が多かった。*表28は項目別受講者数となるため1人が複数項目修了、受講中の場合んも計上されている。

表29. 認定看護分野別受講者数

		修了者 (人)	受講中 (人)	受講予定 (施設数)
1	救急看護	20	0	0
2	集中ケア	7	0	0
3	緩和ケア	14	0	0
4	がん性疼痛看護	5	0	0
5	皮膚・排泄ケア	17	1	0
6	がん化学療法看護	10	0	0
7	訪問看護	1	0	0
8	感染管理	23	2	0
9	糖尿病看護	3	0	0
10	不妊症看護	1	0	0
11	新生児集中ケア	2	0	0
12	透析看護	2	0	0
13	手術看護	6	0	0
14	乳がん看護	3	0	0
15	摂食・嚥下障害看護	10	0	0
16	小児救急看護	0	0	0
17	認知症看護	9	0	0
18	脳卒中リハビリテーション看護	3	0	0
19	がん放射線療法看護	3	0	0
20	慢性呼吸器疾患看護	0	0	0
21	慢性心不全看護	1	0	0

	新たな認定看護分野 (19分野：2020年度から教育開始)	修了者 (人)	受講中 (人)	受講予定 (施設数)
1	クリティカルケア	2	2	0
2	緩和ケア	1	0	0
3	皮膚・排泄ケア	5	1	0
4	がん薬物療法看護	1	0	0
5	在宅ケア	1	0	0
6	感染管理	7	5	0
7	糖尿病看護	0	0	0
8	生殖看護	0	0	0
9	新生児集中ケア	0	0	0
10	腎不全看護	0	0	0
11	手術看護	1	1	0
12	乳がん看護	0	0	0
13	摂食嚥下障害看護	0	0	0
14	小児プライマリケア	0	1	0
15	認知症看護	3	1	0
16	脳卒中看護	1	0	0
17	がん放射線療法看護	0	0	0
18	呼吸器疾患看護	0	0	0
19	心不全看護	1	0	0
	精神科認定看護師	3	2	0

表23の修了者数、受講中の数と表29の内訳の総数が異なった。

表30. 専門看護師分野受講数

専門看護分野	修了者 (人)	受講中 (人)	受講了止 (施設数)
1 がん看護	6	1	0
2 精神看護	2	0	0
3 地域看護	0	0	0
4 老人看護	0	0	0
5 小児看護	0	0	0
6 母性看護	1	0	0
7 慢性疾患看護	0	0	0
8 急性・重症患者看護	1	0	0
9 感染症看護	0	1	0
10 家族支援	0	0	0
11 在宅看護	1	0	0
12 遺伝看護	0	0	0
13 災害看護	0	0	0
14 放射線看護	0	0	0

表24の修了者数、受講中の数と表30の内訳の総数が異なった。